

CAP(まちなか再生総合プロジェクト)

CAPは、「プログラム・パートナー」に基づき、まちなか交流館を拠点とし、関係機関と連携したイベントを開催するほか、「とまチョップ」によるPRを通じ、まちなかの賑わい創出につなげます。また、ライブラリーカフェ(仮称)開設に向けた準備、地域公共交通活性化協議会と連携した公共交通の利便性向上などを推進し、定住人口や交流人口の増加を目指します。

災害に備えたまちづくり

災害に備えたまちづくりは、新たなハザードマップの作成や地域ごとの津波避難計画の策定作業を進めます。さらに、出前講座や市民防災講座を開催するほか、災害時要援護者支援プランの拡大、自主防災組織に対する図上訓練の実施、避難所となる小・中学校への災害用備蓄品の配備継続など、地域における防災力の向上に努めます。

福祉

高齢者福祉は、新たに「高齢者保健福祉計画 第5期介護保険事業計画」を策定するほか、高齢者が介護ボランティア活動を行う、「介護支援いきいきポイント事業」などを実施します。障がい者福祉は、「働く幸せチャレンジ事業」を実施し、障がい者雇用に取り組みほか、公共施設のバリアフリー化の推進などにより、地域生活支援の充実を努めます。また、公共施設を、安心して授乳やおむつ交換が行える「赤

ちゃんの駅」として開設します。

学校教育

学校教育は、来年4月の開校を目指し拓進小学校を建設するほか、同年3月には弥生中学校を閉校し、学校規模の適正化を図ります。また、災害時の避難場所となる学校施設の耐震化を早急に進めます。さらに、調理業務を民間委託する第1学校給食共同調理場は、最新式の施設として本年4月に運用を開始し、より一層、安心・安全な学校給食の提供に努めます。

文化

文化振興は、苫小牧市美術館(仮称)の平成25年度開館に向け、博物館の増改築工事を行うほか、ワークショップなどを通して市民の声を広く聴き、文化芸術活動の拠点となるよう準備を進めます。また、文化公園アートフェスティバルを開催し、文化公園の魅力を発信するほか、青少年ミュージックキャンプやPMF演奏会を継続するなど、文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。



苫小牧中央インターチェンジ

苫小牧中央インターチェンジは、物流の効率化や企業立地の促進のほか、広域医療への貢献や、災害時の避難経路として期待されます。設置に向け、国の政策を注視しながら、北海道をはじめ関係機関と協議を進めます。

主要施策

健やかで安心・安全に暮らすまち

- 子育て支援は、ファミリー・サポート・センター事業を行います。
- 健康を守る事業は、妊婦健診の助成や、子宮頸がんを含む3種の予防ワクチン接種への全額助成などを引き続き実施します。
- 市立病院は、高度な医療機器の整備や、新生児集中治療室を増床します。
- 国民健康保険事業は、生活習慣病の予防のため、特定健診をすべて無料化します。
- 河川は、植苗・美沢地区でのカヌーポイントと親水公園の整備に着手します。
- 消防は、救急業務の高度化と、消防救急デジタル無線の整備など、災害に強いまちづくりを進めます。

活力ある産業と賑わいのまち

- 新千歳空港は、今後も北海道との連携を強化し、地域の皆さんとの協議を踏まえ、空港機能の拡充に努めます。
- 在日米軍再編に伴う千歳基地での日米共同訓練は、市民周知に努め、市民の安心・安全を確保します。
- 苫小牧港は、耐震強化岸壁の整備や既存岸壁の改良工事などを行い、機能を強化します。
- 自然エネルギーは、メガソーラーの誘致や科学センターへの太陽光発電の導入により、自然エネルギープロジェクトを推進します。

- 商業は、商店街活性化条例の制定、商店街が実施する環境整備事業やイベントの支援などにより活性化を図ります。

自然と環境にやさしいまち

- 地球温暖化対策は、住宅用太陽光発電システム設置の助成件数を拡大します。
- 大気汚染の常時監視は、微小粒子状物質の測定機器などを整備するほか、引き続き市内の空間放射線量の監視を行います。

快適空間に生活するまち

- 公園は、地域の声を取り入れた公園整備と施設のバリアフリー化を進めます。
- 水道事業は、老朽施設の更新や耐震化、緊急貯水槽の継続的な整備などを進めます。
- 下水道事業は、合流式下水道の改善、老朽施設の長寿命化などを行います。
- 市営住宅は、日新町から若草町へ移転する団地、1棟120戸の建設を行います。
- 道路整備は、植苗停車場道線、緑町2条通線、双葉3条通線の整備の継続や、新開町5号中通の整備に着手します。

手をつなぎ歩む誇りが持てるまち

- 地域活動の拠点となる町内会館の整備は、錦岡総合福祉会館の修繕に対し助成します。
- 男女平等参画は、男女平等参画宣言に向け取り組みを進めます。
- 平和事業は、苫小牧市非核平和都市条例の制定10周年を記念し、小・中学生絵画展などを実施します。
- 国際交流は、市民の国際理解を深める事業や在住外国人へのサポートを行います。